

確定日（令和02 年 02 月 05 日）

事業コード	04020404		政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・ものの交流拡大戦略							
事業名	発酵の国あきた魅力発信事業		施策コード	02	施策名	「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進							
			指標コード	04	施策目標(指標)名	エリアやターゲットを戦略的に選定した秋田の「食」の輸出拡大と、独自性の高							
部局名	観光文化スポー	課室名	秋田うまいもの販売課		班名	調整・食品振興班		(tel)	2258	担当課長名	大友義一	担当者名	佐々木広人
評価対象事業(計画)の内容											事業年度	令和02年度～令和04年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 平成29年度から本県の豊かな発酵食文化を切り口に誘客を図る取組「あきた発酵ツーリズム」を推進しており、拠点施設への来場者数の増加等一定の効果がでているものの、拠点の県南地区への偏在、ツアー造成数が低位にとどまることなど課題も浮き彫りになってきた。発酵食文化の体験、見学等のニーズはまだまだ高いものと認識しており、その好機を捉えて本県への更なる誘客を図るためには、これらの課題に対応した多角的な誘客促進策を展開するため、本事業が必要となる。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 本県へ発酵食文化の体験、見学等を求めて県内外から観光客が継続的に訪れる状態。 (重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望								
					4. 目的達成のための方法 ①事業の実施主体 観光協会、DMOなど各地域の発酵ツーリズム推進母体及び発酵食品事業者 ②事業の対象者・団体 発酵食品事業者、酒造組合、味噌醤油組合など ③達成のための手段 推進母体を育成し、地域の発酵ツーリズムに係る事業を支援する①発酵の郷づくり推進事業、メディアや百貨店と連携して首都圏へプロモーションを展開する②発酵の国あきた誘客促進事業、研修事業やクルーズ船ツアーへの支援を通じて本県の発酵ファンを増やす取組③あきたの発酵食文化発信事業の3つの事業により目的達成を図る。 ④比較した代替手段及び選択した手段の有効性 発酵食品事業者の自主的取組や市町村に任せることもできるが、地域間で連携した発酵ツーリズム推進や規模感のあるプロモーション、研修事業などは、収益にとらわれず広域的な行政を担う県が効果的に実施すべきである。								
2. 住民ニーズの状況 ①ニーズを把握した対象 □ 受益者 ■ 一般県民 (時期: H29 年 10 月) ②ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 ■ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ③ニーズの具体的内容 旅行者の発酵ツーリズムへの関心の高さ。													
◎把握してない場合の理由及び今後の方針													
①理由													
②今後の方針													
5. 事業の全体計画及び財源													
順位	事業内訳		左の説明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	単位(千円) 全体(最終)計画	
01	発酵の郷づくり推進事業		あきた発酵ツーリズム誘客戦略会議の運営、補助事業の実施等。			5,432	5,432	5,432	0	0	0	16,296	
02	発酵の国あきた誘客促進事業		メディア、百貨店と連携したプロモーションの展開等。			7,862	7,862	7,862	0	0	0	23,586	
03	あきたの発酵食文化発信事業		研修事業、クルーズ船ツアー客を対象とした体験型ミニツアーの実施等。			3,305	3,305	3,305	0	0	0	9,915	
財源内訳		左の説明			16,599	16,599	16,599	0	0	0	49,797		
国庫補助金					0	0	0	0	0	0	0		
県債					0	0	0	0	0	0	0		
その他					0	0	0	0	0	0	0		
一般財源					16,599	16,599	16,599	0	0	0	49,797		

